

# 富士駅南地区 生涯学習推進会

人口：12,107人 世帯数：5,449世帯（平成31年1月1日現在）



## スローガン

体育祭・文化祭を通じて地域でのふれあいの場を広め住民の絆を深めよう。  
健やかな青少年が育つ環境と防犯・防災・交通安全のまちづくりに向かって邁進しよう。



会長 渡井 裕将

## 沿革

富士駅南地区は富士市の南西に位置し、東海道本線富士駅の南側にあり、東西に細長い地域になっています。戦後、東芝従業員が東京など各地方から転勤して来てこの地に移り住み、地元住民と融合しながら、その進歩的な考え方を地域の中に取り入れてきました。「源平富士川の合戦」の古文書にあった地名「小木の里」を引用した小木の里まつりも27年が経過し、生涯学習推進会の準備・運営には大きな役割を果たしてきました。富士駅南地区生涯学習推進会は、昭和43年7月に発足し、この間各団体とも協議し合い活動を行っています。

## 富士駅南のみどころ

### 【富士駅南地区生涯学習推進会の特色】

昭和43年度に社会教育推進協議会が発足し平成5年度に現在の生涯学習推進会として組織が再構成されて以来、歴代の諸先輩方の歴史と伝統を引き継ぎ現在まで諸活動を推進してきました。

富士駅南地区には、区長会をはじめとする39の関係諸団体（まちづくり協議会）が存在しています。私たち生涯学習推進会も富士駅南地域の重要な存在として、各種関係団体との共通認識のもと連携をとりながらそれぞれの団体の立場を理解し協力しあっています。

富士駅南地区の行事の見どころとして特に上げたいのは、何といても「小木の里まつり」と言えます。舞台の設置は、平成27年度からウイング型のトラックの荷台に切り替えられました。昼間の子ども部・夜に入っての大人の部も毎年多くの参加者により模擬店も大賑わいでした。

また、3年に一度の開催となる新居町の「手筒花火」は、豪華絢爛勇壮で富士駅南地区以外の地区からの観衆も多く盛大です。



## 生涯学習の活動

### 【まちづくり協議会とのかかわり】

平成5年に市の行政指導により、これまでの社会教育推進協議会から、生涯学習推進会に名称が変更されました。

### 平成30年度駅南地区生涯学習推進会総会



平成20年には活動拠点の富士駅南公民館は、名称を「富士駅南まちづくりセンター」に変更され、管理部門もこれまでの教育委員会から市民部に移管されました。

平成26年度に富士駅南地区においても「まちづくり協議会」がこれまでの「まちづくり推進会議」を再編成し、七つの部会制（福祉・防災・環境の部会が新たな組織として発足）からなる26団体としての組織で発足しました。しかし、体育祭・文化祭の企画運営については、これまで通り生涯学習推進会の主体的な活動として実施されています。

まちづくり協議会との連携は、今後も前向きに積極的に関係を強化し、各関係諸団体との組織的なつながりを深めています。

## 青少年育成部

48年前、市社会教育推進協議会として発足した唯一の組織です。現在においても青少年育成関連に重点を置いた組織として存続しています。

富士駅南地区としては、夜間の街頭補導・地域パトロールを中心に青少年の健全育成と相談活動・非行防止活動・地域安全活動の推進と明るい家庭づくりを推進してまいりました。

今年度は、特に非行防止への啓発横断幕の設置確認と修理補修・新規制作設置の確認を行い安全な地域づくりへの取り組みを実施しています。

関係団体（青少年指導員・PTAなど）との連携を深めながら地域の安全・安心に寄与しています。

## 成人教育部

まちづくりセンター（旧富士駅南公民館）で習得した事を、発表の場として小木の里文化祭が発足しました。

文化と人々が触れ合う場に、若年者の参加で更に盛り上げようと、平成16年からは富士南中学校吹奏楽部が特別出演し、翌年からは富士第二小学校の合唱が加わり広く参加者に感動を与えてきました。

展示部門では、個人の部の開設や、中学生の作品・その他富士駅南地区内で教室を開くなどしたグループの学習団体も展示の場を盛り上げていただきました。文化祭の実行委員会は、地区の関係団体・出品団体との協議を経て幅広い活動を続けています。文化祭では、出店団体のバザーの楽しい活動も注目されています。



## 総務部

生涯学習推進会への移行前より総会・各種資料のスタイルは変わっていません。毎月の役員定例役員会の進行をはじめ、他の4部全体の進行に大きな関わりを持ちながら活動しています。

## 体育保健部

### 【小木の里体育祭】

地区年間行事の中でも小木の里「体育祭」は、文化祭同様中心的なイベントといえます。

平成24年度までは、毎年9月第1週に実施していましたが、翌年25年度の悪天候の経験の反省に基づき体育祭の開催日を9月最終日に変更しました。この経験と反省に基づき雨天における対応についてスポーツ推進委員・各地区体育部長等の皆様方とも協議を重ね、翌年度からは事前の説明の中に雨天対応の提起をしました。



体育祭種目につきましても従来の種目に拘らず内容の見直し（怪我への対応）を行ってきました。

体育祭の企画運営については、生涯学習推進会が主に携わりますが、子ども会世話人会や各地区の体育部長など地区広範に渡る役員の総行動により推進してきました。このことにより地域の連携と仲間の関係性がより強まりました。

### 【スポーツ教室】

富士市の委託事業としてスポーツ教室の開催をスポーツ推進委員の指導のもとに実施してまいりました。当初は、参加人数も少なかったのですが



子ども会世話人会・PTA・日本語学校など関係団体との連携をはじめ年々参加者が増えその事業内容の理解も深まっています。

## 安全教育部

富士駅南地区においては、安協駅南分会とのかかわりが強いといえます。イベント等があると、来場者や駐車場誘導には安協が関わってくれるので安全教育部員の役割は、主に年4回の交通安全週間の街頭指導が主な活動の中心となっています。